

第64回大会

計量国語学会

日時
2020年

9月19日【土】10:20～17:00

場所

オンライン大会

参加申込み：<https://sites.google.com/view/mathling2020/>

参加申込・参加費支払い締切：2020年9月11日（金）

参加費：会員 1,000 円，学生非会員 1,000 円，一般非会員 2,000 円

研究発表 1 (10:30～12:00)

1. 複合格助詞丁寧体「につきまして」「に関しまして」「に対しまして」に関する考察：『現代日本語書き言葉均衡コーパス』『日本語話し言葉コーパス』を資料として 丁文静
2. 「ね」の伝達的機能：「そうなんですね」「んですかね」の使用に着目して 市村 葉子
3. 漢語名詞の連体修飾用法：異なる連体標識の選択が意味機能に及ぼす影響：漢語名詞「安定」を例にしたコーパス調査 鄧琪

総会 (12:00～12:30)

研究発表 2 (13:00～14:30)

4. 芥川龍之介の「語り」の文体の計量分析 渡辺 隼・金明哲
5. 構造的トピックモデルによる近現代小説の文体変化の考察 李広微・金明哲
6. 職場で働く外国人と日本人にとって理解度が低くなる専門文書の中の日本語の特徴：IT企業における「システム仕様書」を使った理解度テストの結果から 大崎 健一

研究発表 3 (14:40～16:45)

7. 求職場面で使われる日本語の特徴を捉えるための計量的アプローチ 亀井 信一
8. 異文化間能力の育成を目指す計量テキスト分析：ドイツ・セルビア・日本の学生を対象に 村田 裕美子・トリチコヴィッチ ディブナ・李在鎬
9. I-JASを用いた習熟度と接続詞の使用に関する調査：論理的文章執筆の支援システムの構築に向けて 李在鎬・伊集院 郁子・青木 優子・長谷部 陽一郎・村田 裕美子
10. 1948年に実施された日本人の読み書き能力調査の得点分布をどう解釈するか 横山 詔一・前田 忠彦・野山 広・福永 由佳・高田 智和

懇親会 (17:00～)